

# jlreq-deluxe パッケージ

Yukimasa Morimi (h20y6m)\*

2021-01-09

## 1 概要

p $\text{\LaTeX}$  及び up $\text{\LaTeX}$  で jlreq クラス<sup>1)</sup>を使用する場合に和文を多書体（多ウェイト）にする機能を提供する。

jlreq クラスでは JLReq<sup>2)</sup>に従った組版を実現するために独自の和文 VF を用いている。このため、多書体（多ウェイト）にしようと japanese-otf パッケージ<sup>3)</sup>を利用すると和文 VF が置き換わってしまい、jlreq クラスの意図する組版が得られなくなってしまう。

このパッケージでは jlreq クラスの提供する和文 VF を元に japanese-otf に合わせた和文 VF を提供し、さらに、pxjodel パッケージ<sup>4)</sup>を利用した和文 VF 置き換え機能を提供する。

## 2 前提条件

- $\text{\TeX}$  フォーマット： $\text{\LaTeX}$
- $\text{\TeX}$  エンジン：p $\text{\TeX}$  及び up $\text{\TeX}$
- DVI ウェア：和文 TFM と VF をサポートするもの
- 前提パッケージ：
  - pxjodel パッケージ

## 3 使用方法

通常のパッケージと同様に `\usepackage` で読み込む。

```
\usepackage[オプション]{jlreq-deluxe}
```

---

\* <https://github.com/h20y6m>

1) <https://www.ctan.org/pkg/jlreq>

2) W3C 「日本語組版処理の要件」 (<https://www.w3.org/TR/jlreq/?lang=ja>)

3) <https://www.ctan.org/pkg/japanese-otf>

4) <https://www.ctan.org/pkg/pxjodel>

基本的に jlreq クラスとともに使用することを想定しているが、他のクラスでも使用することは出来る。

## 4 オプション

基本的に otf パッケージのと同じオプションが使用できるが、以下のオプションは動作が異なる。

- `deluxe`  
既定で有効になる。無効にしたい場合は `deluxe=false` を指定する。
- `burasage`  
使用できない。ぶら下げ組みを行いたい場合は `hanging_punctuation` オプションを使用する。
- `jis2004`  
既定で有効になる。無効にしたい場合は `jis2004=false` を指定する。
- `uplatex`  
jlreq クラスを使用している場合は自動的に設定される。
- `scale`  
jlreq クラスを使用している場合は自動的に設定され指定は無視される。

また以下のオプションが使用できる。

- `hanging_punctuation`  
jlreq クラスの `hanging_punctuation` オプションに対応する VF を使用する。jlreq クラスを使用している場合は自動的に設定され指定は無視される。
- `zenkakunibu_nibu`  
jlreq クラスの `open_bracket_pos=zenkakunibu_nibu` オプションに対応する VF を使用する。jlreq クラスを使用している場合は自動的に設定され指定は無視される。